

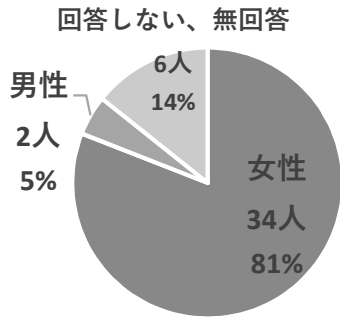
第4次静岡市男女共同参画行動計画（案）に対するパブリックコメントの結果概要

1 パブリックコメント実施概要

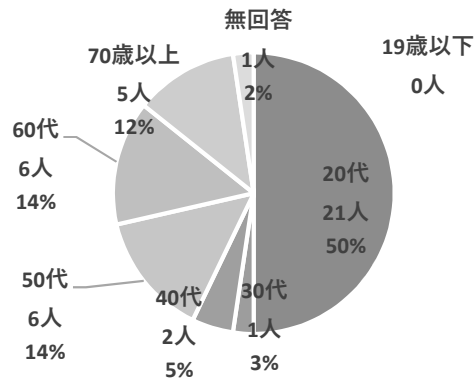
- (1) 実施機関 令和4年12月7日（水）～令和5年1月6日（金）
- (2) 周知方法 静岡市女性会館、各区役所市政情報コーナー、各生涯学習センター・交流館、各市立図書館、市ホームページ
- (3) 提出方法 郵送、FAX、持参、電子申請

2 募集結果

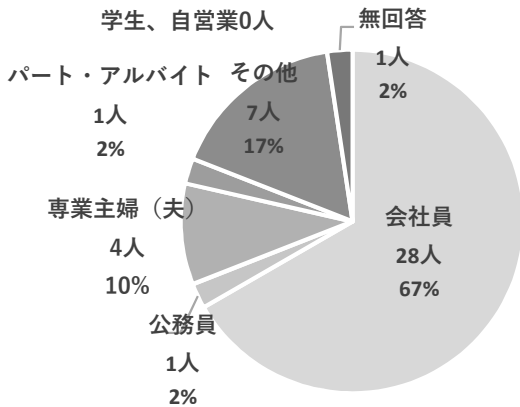
- (1) 意見提出者数 42人
- (2) 意見件数 88件
- (3) 回答者の性別



(4) 回答者の年代



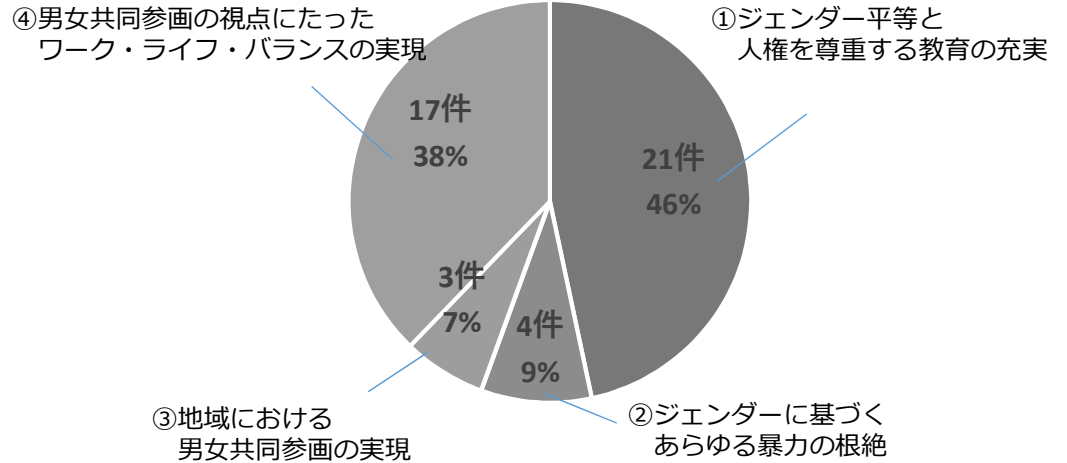
(5) 職業



(6) 意見の反映状況

A：計画案に反映できるもの又はすべきもの	3
B：既に計画案に盛り込み済のもの	12
C：計画案に反映できないもの	0
D：その他要望、感想等	28

3 計画の重点目標のうち、特に力を入れる必要があると思うもの



「①ジェンダー平等と人権を尊重する教育の充実」の主な意見

・ジェンダー平等については性別に関わらず平等な責任や権利があることを子どものころから教育していくことが必要。社会制度や慣行あるいは家族、親の考え方、宗教などによってゆがめられているところがあると思います。

「②ジェンダーに基づくあらゆる暴力の根絶」の主な意見

・暴力は犯罪であり、重大な人権侵害だから。性別役割分担を前提とした社会の仕組みが、男女の賃金格差を生み、経済力の上下で主従の関係性が作られていく。力を持った側の誤った価値観により、相手を思う通りに支配しコントロールしようと暴力が使われる。暴力を使う側は、メディアなどでふれる暴力シーンから、理由があれば暴力をふるってもよいと正当化する。暴力でしか物事を解決できない人をこれ以上増やしてはならない。

「③地域における男女共同参画の実現」の主な意見

・地域では、いまだ男女共同参画の意味も理解していない人が多く、理解している者が、頑張っても身近なところほど難しい。

「④男女共同参画の視点にたったワーク・ライフ・バランスの実現」の主な意見

・イクメンという言葉無くし、夫婦が共に子育てができる環境を当たり前にしたいという思いも込めて、共働き世代が安心して子どもの成長に向き合える社会になってほしい。

4 第4次静岡市男女共同参画行動計画案に対するご意見（自由記載）

設問：本計画案に関してのご意見、期待することなどをご自由にお書きください

分類凡例
 A：計画案に反映できるもの又はすべきもの
 B：既に計画案に盛り込み済のもの
 C：計画案に反映できないもの
 D：その他要望、感想等

区分	主な意見	分類	市の回答
基本目標2「ジェンダー平等と人権を尊重する教育の充実」	人権の尊重、男女共同参画の視点など幼少期からの教育で未来が変わるのではないかと。ただし今、私たち大人が意識の改革をしなければ子供達も迷い教育も実を結ばず未来を変えることはできないと思う。	B	幼少期からの「ジェンダー・人権教育」に取り組むとともに、その教育に携わる保育教諭や教職員に対して、アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）に気づくための研修等を進めてまいります。
基本目標3「ジェンダーに基づくあらゆる暴力の根絶」	相談窓口の効果的な発信をすることも大事だと思うが、被害者は日常的に暴力にさらされていると、それが普通となってしまう「相談するほどのことではない」と思い込みがちである。暴力被害に遭っているという意識も薄くなり、いくら相談窓口を周知したところで、相談にはたどりつかない。被害者が暴力を認識できるように、暴力根絶のための教育は必要で、主な取組の（2）幼少期からの「性教育」の部分で、暴力と安全確保の視点も入れた「包括的性教育」という表現に変えるのが望ましい。	A	いただいたご意見をもとに、計画案の基本目標3主な取組（2）、基本目標4主な取組（2）の文中にある「性教育」という表現を「包括的性教育」に修正いたします。
基本目標3「ジェンダーに基づくあらゆる暴力の根絶」	加害者の更生支援は非常に充実であるが、その前提として再発防止も必要かと思われる。主な取組の（7）は「加害者の再発防止と更生支援の充実に向けた...」とした方がよいのではないかと。	A	いただいたご意見をもとに、計画案の基本目標3主な取組（7）「加害者更生支援の充実に向けた関係機関との連携強化」を、「加害者の再発防止と更生支援の充実に向けた関係機関との連携強化」に修正いたします。
基本方針7「男女共同参画の視点にたったワーク・ライフ・バランスの実現」	固定的役割分担意識が払拭できず、女性は男性と同じように働いていても家事育児は女性の仕事とされる。家庭内での男性の意識が変わらなければ職場、社会の意識も変わらない。	B	女性に偏った家事・子育て・介護の負担を軽減するため、事業者や当事者に向けた男性の家事・子育ての情報発信や、当事者に向けた父親同士の交流の機会を設けることなどにより、男性の家事・子育て・介護への参画を阻む固定的な性別役割分担意識の見直しに取り組んでまいります。
基本目標8「労働の場における男女共同参画の実現」	「育児」という表現が使用されているが、「育児」は、乳幼児、0歳～6歳の小学校入学前までの子供を育てることを指すという理解があるようです。子育ては「育児」以後も継続し、「育児」後の「子育て」にも男性の参画は不可欠ですので、「育児」という表現を「子育て」にかえていただいた方がよいと思います。	A	いただいたご意見をもとに、育児休業法等、法律や制度名に関わらない部分について、「育児」という表現を「子育て」に修正いたします。
計画全体	行動計画案はその通りだと思います。問題はどうか実現するかです。国も自治体も本気で実現させる意思があるならば予算も人材も熱意も手厚く注入してすべての市民が安心して自分らしく暮らせるまちづくりを目標としてください。	D	本計画の8年後の目指す姿「ジェンダー平等に基づき、すべての市民が安心して自分らしく暮らせる静岡（まち）」を目指し、各種事業を実施してまいります。